

博士前期課程（修士） / 助産看護学領域 / 助産看護学分野

科目コード：280001

# 助産学概論

担当教員	亀田 幸枝、濱 耕子、米田 昌代、曾山 小織、吉田 みち代、彦野 亜希子、椿 麻衣子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	助産、助産師の専門職制、助産師教育、業務、地域母子保健、関連法規、職業倫理				
学習目的・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産学の基本理念に通じる助産の概念と変遷、助産師の職業倫理、ならびに国内外の母子保健の実情を知り、助産師における責務と役割について述べるができる。</li> <li>2. 助産師における職業倫理上の課題を総合的に概括できる。</li> </ol>				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1-2	ガイダンス、学習課題提示  【課題提示】 ・助産師、助産、出産文化などから「命が生まれ、育むことについて考える」（レポート） ・助産師と職業倫理（グループワーク）  助産の概念（助産とは、助産師の専門職制）	講義	亀田・濱   濱		
3	助産師教育の変遷と現状、お産の歴史と文化	講義	亀田		
4-5	助産師と専門職能団体	講義	吉田・彦野・亀田		
6	海外における助産師の教育	講義	椿・亀田		
7-8	助産師と職業倫理（グループワーク）  助産師、助産、出産文化などから「命が生まれ、育むことについて考える」レポート紹介 定期試験	プレゼンテーション 討議	濱・亀田・米田・曾山		
教科書	助産師基礎教育テキスト1：日本看護協会出版会（最新版） 新版 助産師業務要覧（Ⅰ基礎編・Ⅱ実践編）：日本看護協会出版会（最新版）				
参考図書等	助産師基礎教育テキスト3：日本看護協会出版会（最新版） 助産学講座 基礎助産学[1] 助産学概論：医学書院 臨床助産師必携 生命と文化をふまえた支援：医学書院 厚生指針 臨時増刊 国民衛生の動向：勤労生統計協会他				
評価指標	定期試験60%、レポート20%、プレゼン・討議20%				
関連科目	助産実践実習Ⅰ（正常・継続）・Ⅱ（ハイリスク・継続）、地域母子保健特論、助産管理特論、助産管理実習				
教員から学生へのメッセージ	助産学領域の基礎となる当科目は、学びの出発点として助産師としての視野が広がる授業内容にしたいと思います。				